

編集発行 女性委員会

〒060 中央区北4条西5丁目 三井生命共同ビル (社)北海道建築士会 ☎ 011-251-6076

## 『全国女性建築士連絡協議会』—神戸—

『平成 15 年 全国女性建築士連絡協議会』が 7 月 11 日、12 日の 2 日間、全国から約 290 名の会員が出席し神戸市の兵庫県民会館で開催されました。テーマは“地域と共生する住環境づくり”で、阪神大震災から学んだ事や震災で生まれたケア付仮設住宅・特別養護老人ホーム「喜楽苑」の講演などがあり、その後パネルディスカッションでは災害に強いまちづくりには「小規模で分散した生活自立圏が理想である」「巨大なもの（行政も）はもろい」など色々な意見がでました。

また、震災後 10 年目の調査より「復興公営団地」に住む高齢者のストレスは他の高齢者に比べて心身共に低い結果が出た。これは「LSA（外部支援者）」がコミュニティ形成のため様々な取り組みをした結果「QOL（生活の質）」を高めたからではないか、住宅戸数は 100 戸未満が総合的にみてバランスが良いなどが発表されました。

翌日は 8 つの分科会が行われ、山本明恵前委員長も「子供・住環境」分科会の司会を担当し、徳島の女性部会から「児童保育施設」の実態調査報告がありました。県下一円に点在する 60 数件の施設を調査（継続中）した結果、修理・修繕が必要な建物や、汲み取り式トイレで非衛生的など、劣悪な環境で「子供の権利」を書いていると感じたものもあったそうです。

行政は見てみぬふりをしている。「児童保育施設」とはどういうものか知らないで設計している建築士もいるなど、色々な問題が提起されました。（道東C/亀岡）



発表中の山本前委員長 7月12日





# 『平成 15 年 女性建築士の集い』

演題 「私の施設居住論」

講師 小川 信子 氏 (日本女子大学名誉教授・北海道浅井学園大学北方圏生活福祉研究科研修員)

6月5日 札幌市 かでる2・7 特別会議室にて開催、小川先生の講演は平成12年度に続き2回目となります。今回は、学生も参加されました。

- 施設養護の目的と理念
  - 児童自立支援施設
  - 高齢者の住宅、施設の取り組み
- 施設居住学とは、... 今までの研究を  
とこ解明すべく説明して頂ました。

家庭学校のお話では、遠軽にある学校を依りにスウェーデンや一世紀前のスイスなどとの比較をまじえ、成長する上での心の交流、教会をシンボルに道徳心の教え、又、音楽の力を借りたり、草花を育てる心など体の五感を刺激して楽しくかえる。今の私達にも必要とする心と体のバランスも見直す良い機会だったと思います。学生の皆さんは有意義な時間を過ごせたと思います。女性建築士として心はばりある北海道型の提案を又新しい発想で進めて行きます!!



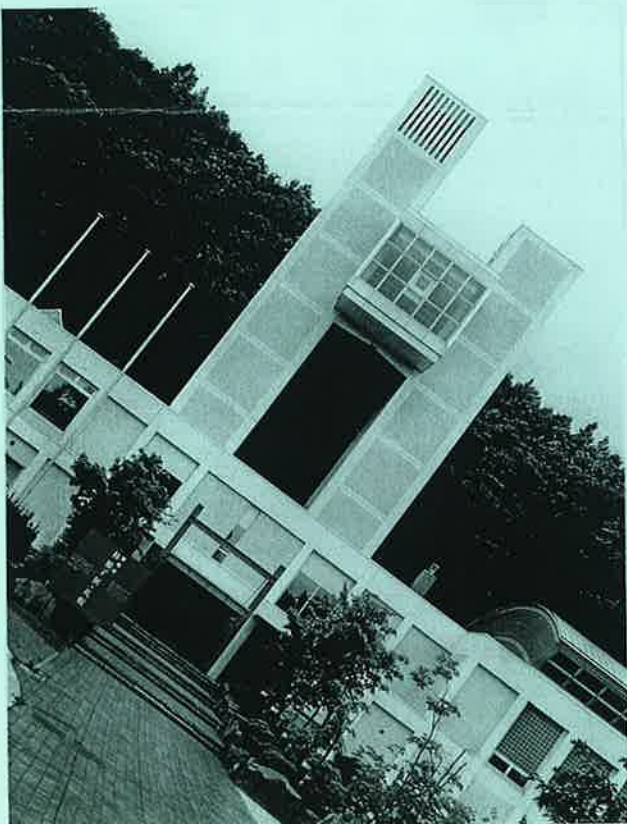
小川先生と小谷部連合会委員長

— 小川 信子 —

かでる2・7 特別会議室  
に於いて 6月15日



HAYASHI Masako  
architect  
1928-2001



## 『建築家 林 雅子』展・札幌

昨年、東京・大阪で開催された『建築家 林 雅子』展が、6月7日(日)～26日(木)札幌市南区芸術の森に隣接する札幌市立高等専門学校において開催されました。

遠隔地にもかかわらず会期中の入場者は1600名を越えました。

展示されている図面、美しいアクリル模型に引き寄せられるように観ている来館者の様子が印象的でした。

また、展示物から発するメッセージ、展示スペースとなった「スカイウェイ」と周辺の風景の見事な演出の効果でしょうか、来場者の滞在時間が長い展覧会でした。

道央A 東 道尾



# お菓子の家づくりコンテスト

～家づくりの鉄人～

平成15年3月30日(土) 12:00~17:00

旭川市のときわ市民ホール

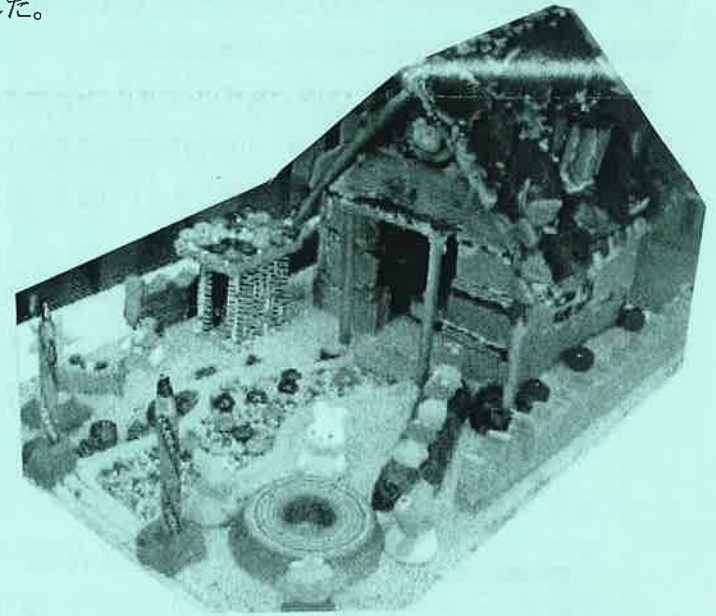
(社)北海道建築士会旭川支部女性部会

(社)北海道建築士事務所協会旭川支部 合同企画



建築士の仕事を少しでも子ども達に知らせたいという思いからこのイベントの計画が始まりました。小学4年生以上のグループ10組37人エントリー、女性部会からは11人が各チームのお手伝い係や審査員として参加しました。(事務所協会からは男性12人)

初めての試みとあり、お菓子の調達方法や選択、試作品の作成、当日の段取りととまどうことも多かったですが子ども達の笑顔と達成感でいっぱいの一日となりました。事前に確認申請のつもりで、簡単な設計図を提出してもらい、最後には完了届けの様なものを出してもらおうなど工夫もしました。



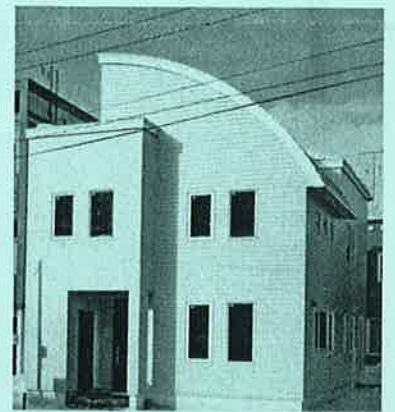
予想では時間がたりないのでは?とか、柱や屋根、壁をうまく立ち上げていくことが出来るのであろうか?などと心配をしましたが、子ども達の想像力は予想以上にたくましく、時間以内にすばらしいお菓子の家が出来上がりました。半日という行程の中では、「建築士の仕事」や「建築物の構造」、「確認申請」のことなどを理解してもらうことは難しかったようですが、夢を作り上げていく仕事だということを少しは解ってもらえたような気がします。ゴミを持ち帰ることや食べ物を大切にすることなどをもっと徹底してお知らせしなかったということが反省点でしょうか。

道北Aブロック 相澤 元恵

4月2日、道北Cブロックには初の会員設計、施工の現場見学会を開催しました。シックハウス対策の基準法改正の話題も上っておりましたので、合わせて気密測定士(株アストリーの岩佐氏)に講師を依頼し、換気と基準法の勉強会をしました。

8名の参加で、熱心な意見交換もあって、とても勉強になったのが、さて、7月に入り確認申請の業務に入ると、又、さらに具体的な勉強会をしたいとの声も上がっており……。今年も勉強会の年となるのでしょうか? とほほほ……

活動・活発な年にするぞー と息も切らさずみりまの。 記 白石





## 道央Bブロック活動報告

道央Bブロックの見学会は7月5日(土)に行われました。参加者は札幌支部の方々もいらして合計16名、ほどよい天気の中の見学会となりました。

今回は旧三井銀行小樽支店と金融資料館(旧日本銀行小樽支店)の2ヶ所を北海道職業能力開発大学校助教授 駒木定正先生の説明を聞きながらの見学となりました。

旧三井銀行小樽支店は、昭和2年建築されたSRC2階建て、5つのアーチが連なる石積みの外壁を持つ建物です。小樽市の登録歴史的建造物となっています。つい昨年の11月まで三井住友銀行小樽支店として営業していました。現在は所有者も変わり、まだ特定の施設とはなっていないため(しかも、普段は



旧三井銀行小樽支店の前で記念撮影

非公開)内部はきれいさっぱりとほとんどなにもなく、見学にはうってつけの状態でした。所々に残されている古い調度類が良い雰囲気を出して、参加者一同かなり興奮状態でした。

その後、金融資料館を見学。旧日本銀行小樽支店は辰野金吾、長野宇平治、岡田信一郎らの設計で明治45年に建築されました煉瓦造階建てで、石造り調の外観の建物で小樽市指定有形文化財です。ここも昨年の9月まで日本銀行小樽支店として営業していました。現在は金融資料館となり、1階のみの公開となっています。旧三井銀行小樽支店のように隅々までじっくりと見学することはできないのが少し残念でした。

見学の後は、金融資料館の向かいにあるワイン・レストラン小樽パインで昼食をとりました。実は、この建物は旧北海道銀行本店で、旧日本銀行小樽支店と同じ長野宇平治の設計です。明治45年建築され、市指定歴史的建造物に指定されています。

レトロな銀行建築づくしの見学会でした。(道央B 松浦由希)

### 北海道建築士会全道大会(富良野)

平成15年9月11日(木)~12日(金)

女性委員会では「C分科会」を行います

- 日時 9月12日(金)
- 場所 富良野演劇工場(富良野市中御料)
- 内容 富良野演劇工場の篠田信子氏の講演館内見学など

皆様の参加を  
お待ちしております!!

### 編集後記

今年前期の広報です  
記事が古くさくならない  
うちに早くと思っていたので  
すが、なかなか難しい…  
12月に後期を出す予定です。  
次は今回載らなかったブ  
ロックの記事を予定してい  
ますので、ブロック長の皆様  
よろしくお願ひします

(道東C)

